

レベル I 研修を終えて

平成25年度入職看護師



レベル I 研修の目標

- 1. 指導を受けながら患者に安全で確実な看護技術が提供できる
- 2. 日常の看護を振り返り必要な学習を継続できる
- 3. 目的意識を持ち研修に参加し、臨床で実践できる



<目標1>

指導を受けながら患者に安全で
確実な看護技術が提供できる。

- 検査や処置時、看護手順を参照し、プリセプターや他の先輩方に確認・指導していただいた。
- 静脈注射について、新人研修での講義や実技を行った。また、先輩看護師の方々に実際に練習させてもらった。



<目標2>

日常の看護を振り返り必要な学習を継続できる。

- 新人チェックリストを用い、プリセプターと確認しながら必要な知識・技術を計画的に学んできた。
- 毎日の反省・感想を書くことで自分の日々の看護を振り返り次に活かした。
- 初めての検査・看護技術を行う際は事前学習を行い実施した。さらに振り返りを行い、足りない知識を学習した。



<目標3>

目的意識を持ち研修に参加し、臨床で実践できる。

- 各グループに分かれて、日々の勤務の中で疑問に思ったことを学び、臨床で実践していきたいという目的意識を持ち、主体的に研修を行った。
 - 企画書の作成・講師への依頼・場所や必要物品の準備を行った。さらに振り返りまでを行い研修の企画・実施・評価というPDCAサイクルを経験した。
- 各研修で学んだ知識・技術をそれぞれの部署で実践した。



オペ室・3階病棟・・・心電図

- 波形と誘導
- 解剖生理と心電図の基礎
- 危険な心電図波形
- VT, VF, 不整脈, 冠状動脈疾患の心電図の理解
- 研修を立案・計画・実施・評価を行って



4階病棟・・・全身麻酔とその薬剤

- 麻酔の種類
- 麻酔の導入方法
- 麻酔の目的
- 主に使われる薬剤の効果、
発現時間、注意点等
- 術後の悪心・嘔吐について
- 研修の振り返り



5階病棟・・・ポジショニング

- 新人研修を受けるなかで5階病棟は「安楽」の重要性を認識するようになり、床上での生活を多いという病棟の患者さんの特色から、“ポジショニング”について学びたいと考え、研修を企画した。
- 研修から学んだことを病棟で実践したところ患者さんから「楽になった。ありがとう」との言葉をいただくことができた。
- →患者本人よりポジショニングについての評価をいただき、学びを実践に繋げることができたという評価できた。



レベル I 研修と 1年間の勤務の中で学んだこと

- 継続した学習が必要
- 安全で確実な看護技術の習得
- 主体的に動くことの大切さ
- PDCAサイクルの必要性
- 報告・連絡・相談